

Unit 8 動名詞(doing)

日本語でも「～すること」「～するのは(を)」で動作を名詞として扱うことがあります。「毎日泳ぐことは健康によい」とか「毎日泳ぐのは健康によい」という言い方がその例です。英語では、Swimming every day is good for your health. と表現し、swimming をそのまま主語として使います。このswimming は「動名詞」と呼ばれ、「泳ぐこと」に当たります。

He is swimming in the river. (彼は川で泳いでいる) のような進行形のdoing と動名詞のdoing は何が違うのでしょうか。進行形の doing は「現に何かをしている」という具体的な動作を表します。しかし、動名詞の doing になると実際の動作を表すのではなく、「何かをすること」という頭の中で思い描く内容(アイデア・考え、記憶など)を表すのです。

たとえば、I enjoy playing the piano. は「ピアノを弾くのが楽しい」という意味合いですが、この表現を発話するときに、たいてい、実際にピアノを弾いているわけではありません。頭で思い描いてplaying the piano といっているのです。

アイデアや記憶は頭の中にあるものなので、動名詞は imagine(想像する)や remember(覚えている)といった動詞と相性がよく、Can you imagine working with that obnoxious man? (あんないやなやつと一緒に仕事するって考えられる?) や I remember talking to Mr. Sato. (佐藤さんと話したのを覚えています) のように使うことができます。ところが、I have to remember to talk to Mr. Sato. だと「佐藤さんと話をするのを覚えていなければならない」ということで、これは実際にこれから話をするということが前提にあります。

動名詞は完全な名詞

動名詞は(実際の進行動作を表さない)抽象化された概念なので、時間的に中立で、過去のこと(記憶)にも、これからのこと(アイデア)にも使うことができます。言い換えれば、動名詞は「完全な名詞」だということです。だからこそ、主語の位置に使って、Swimming every day is good for your health. といった表現が自然なのです。